

13. 愛知県

| | | | | |
|--------------|--|--|---|--|
| エコタウン 名称 | 新・あいちエコタウンプラン（「あいちエコタウンプラン」から改訂） | | | |
| 承認年 | 平成 24 年（平成 16 年） | | | |
| エコタウン の特長 | <p>「新・あいちエコタウンプラン」では、愛知県で盛んなモノづくり、いわゆる「動脈産業」のみならず、廃棄物又は資源の回収やリサイクル等の「静脈産業」である循環ビジネスの活性化を推進するため、先導的で効果的なリサイクル施設等の設置や未利用資源の活用によって得られた新たな製品やエネルギーの地域内循環を促進することを目的としています。対象地域は県内全域としており、地域に蓄積されてきた高度な産業技術と、産学行政の交流・連携と事業者間の協働によって、新しい、高付加価値型の循環ビジネス創出の促進に取り組んでいます。また、生み出されたビジネスが採算性を確保しつつ継続的に発展することに重点を置くとともに、循環ビジネスと既存の製造業とが社会経済システムの中でしっかりと結びつきながら、互いに需要を喚起しあう、「環境と経済が好循環するモノづくり県」のさらなる発展をめざしています。</p> | | | |
| URL | http://aichi-shigen-junkan.jp/aichi_ecotown/index.html | | | |
| 自治体の 取組 | 財政面の支援 | 例) 補助金、優遇措置、等 | <ul style="list-style-type: none"> ・新たな循環ビジネスの発掘・創出、事業化及び事業継続に向け「あいち資源循環推進センター」(県庁西庁舎1階)を開設し、コーディネーターを配置するとともに、各種取組の実施や、技術的・経営的な相談に応じている。・産業廃棄物税を財源として、先導的・効果的な機能を持つ施設の整備やビジネスの事業化検討に要する経費の一部を補助する「循環型社会形成推進事業費補助金」を実施している。 | |
| | 事業面の支援 | 例) 独自の認定制度、展示会、商談支援、等 | <ul style="list-style-type: none"> ・先導的・効果的と認められる施設や事業等を「エコタウン施設」として認定している(平成 26 年1月現在 17 施設を認定)。 ・先駆的で効果的な技術・事業・活動・教育)の優れた事例を「愛知環境賞」として表彰している。 ・リサイクル製品や省エネ技術等を広く宣伝・普及する機会を持たない中小企業を対象に、名古屋、東京等で開催される大型展示会への出展支援を行っている。 | |
| | その他 | 例) 産官学連携、協議会等の設置、情報発信、等 | <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の3Rや省資源・省エネ、企業等の技術、製品、事業システムなど、循環ビジネスに係る各種情報を「資源循環情報システム(http://aichi-shigen-junkan.jp)」において掲載・紹介している。 ・情報の提供、交換等の場として、有識者等によるセミナー、ビジネスマッチング、見学会等を主な内容とした「循環ビジネス創出会議」を実施している。 ・「あいちゼロエミッション・コミュニティ構想」において、県内に存在する廃棄物・未利用資源の状況を踏まえ、事業化が期待できる事業モデルを提案し、事業化に向けた調査・検討・支援を行っている。 | |
| 問合せ先 窓口 | 担当部署名 | 愛知県環境部 資源循環推進課 循環グループ (あいち資源循環推進センター) | | |
| | 担当者名 | 桑山 知之 | | |
| | 連絡先 | 電話番号 | 052(954)6233 | |
| | | FAX | 052(953)7776 | |
| E メールアドレス | | junkan@pref.aichi.lg.jp | | |

13.1 株式会社 INB プランニング

13.1.1 事業者情報

| | | | | |
|-----------|--|--------------------------|--------------|--|
| 名 称 | 株式会社 INB プランニング | | | |
| 本社住所 | 〒474-0001 | 愛知県大府市北崎町駒場 56-3 | | |
| 資本金、出資金 | 74,000 千円 | | | |
| 従業員数 | 20 人 | | | |
| 設立年月日 | 平成 12 年 | | | |
| URL | http://www.inbplan.co.jp | | | |
| 事業概要 | <p>・大手ゴム企業の生産工程で品質管理上オフスペックとなったゴム中間原料(未加硫ゴム)を原料として、当社独自の技術力によりリサイクルゴム製品を製造販売を行っています。</p> <p>・バージンゴム原料を混練りして、ゴム中間原料をゴム成型会社に販売しています。</p> | | | |
| 事業所写真 |  | | | |
| 問合せ先窓口 | 部署名 | 営業本部営業化 | | |
| | 担当者名 | 岩渕 光昭 | | |
| | 連絡先 | 電話番号 | 0562-45-6966 | |
| | | FAX | 0562-45-6967 | |
| E メールアドレス | | m_iwabuchi@inbplan.co.jp | | |

13.1.2 技術情報

| | | | |
|----------|--|-------------------------|---|
| キーワード | 未加硫廃ゴム・再資源化・ゴムマット | | |
| 技術名称 | 未加硫廃ゴムの再資源化 | | |
| 技術の分類 | 加工・成型(再生品化) | | |
| 目的・用途 | 道路工事用ゴムマット・牛床マット | | |
| 特長 | 海外産廉価ゴムマットと競合できる価格と数倍の強度を持つ高い品質 | | |
| 設備等の写真 |  | | |
| 処理フロー図 | 原料集荷→受入検査・配合設計・配合試験→前処理→混練→成型(加硫)→製品 | | |
| 廃棄物の種類 | 有償 | ゴムくず(未加硫廃ゴム) | 受入条件、形状 加硫していないこと・金属等の異物混入が無いこと |
| 供給資源・製品 | ゴムマット類 | | 形状 販売先との打合せの上決定 |
| アピールポイント | 廃棄物等排出者側のメリット | 例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等 | <ul style="list-style-type: none"> ・当社が該当事業を始める前は、産業廃棄物として埋立・焼却処分が一般的であり、その処分費用は¥10/kg～¥50/kgが企業の負担となっていました。 ・当社は、排出企業側に分別と管理の徹底を図ることにより、有価物として引き取ることを提案し、資源循環システムを構築しました。 |
| | 製品購入者側のメリット | 例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等 | <ul style="list-style-type: none"> ・未加硫廃ゴムとバージン材を原料とした其々のゴムマットのCO2排出量を比較した場合、1.86 kg CO2/kg⇒4.10 kg CO2/kgと約55%のCO2削減に繋がることが証明されています。 ・当社Rマットはバージン原料ゴムマットとほぼ同等の品質を持ち、海外産再生マットと比べ数倍の強度と寿命を持つと評価されています。 |
| | その他 | 例)受賞歴、見学受入者数等 | <ul style="list-style-type: none"> ・2006 愛知環境賞優秀賞受賞 ・約100名の施設見学者受け入れを実施 |

13.1.3 実績情報

| | 品目名 | 平成 20 年度 | 平成 24 年度 | 単位 |
|----------|---------------|----------|----------|----|
| 処理実績量の推移 | 未加硫廃ゴム | 非公開 | 非公開 | トン |
| 受入可能量 | 未加硫廃ゴム | - | 非公開 | トン |
| 販売実績量の推移 | ゴムマット・未加硫ゴム原料 | 非公開 | 非公開 | トン |
| 主な調達先 | 非公開 | | | |
| 主な供給先 | 非公開 | | | |

13.2 中日精工株式会社

13.2.1 事業者情報

| | | | | |
|----------|--|------------------------------|--------------|--|
| 名 称 | 中日精工株式会社 | | | |
| 本社住所 | 〒442-8510 | 愛知県豊川市穂ノ原三丁目 14 番地 1 | | |
| 資本金、出資金 | 30,000 千円 | | | |
| 従業員数 | 75 人 | | | |
| 設立年月日 | 昭和 41 年 | | | |
| URL | http://www.chunichi-seiko.co.jp | | | |
| 事業概要 | <p>輸送用機器部品加工(金属歯車類)・木材廃棄物(間伐材チップ、木工所オガコ)を取り扱う、建築廃材及び合板は含まず。 県内木材廃棄物のみ使用(運搬コストを考慮)。 木材廃棄物を水蒸気加熱、加圧して付加価値を高めた製品(スピーカーインシュレータ、消臭剤)に再生しています。</p> | | | |
| 事業所写真 |  | | | |
| 問合せ先窓口 | 部署名 | 研究・開発室 | | |
| | 担当者名 | 近藤泰人 | | |
| | 連絡先 | 電話番号 | 0533(84)1411 | |
| | | FAX | 0533(84)1415 | |
| Eメールアドレス | | y_kondo@chunichi-seiko.co.jp | | |

13.2.2 技術情報

| | | | |
|----------------|--|--------------------------|---|
| キーワード | 間伐材、木材チップ、オガコ | | |
| 技術名称 | 木質成形体製造技術、消臭剤製造技術 | | |
| 技術の分類 | 加工・成形(再製品化)、新素材リサイクル | | |
| 目的・用途 | 木材オガコを原料として新素材を金型成形する。 木材チップから消臭剤に加工。 | | |
| 特長 | 高密度木質の特徴を活かした高付加価値音響製品に利用。 活性炭や備長炭より高い消臭機能の消臭剤を低コストで作れる。 | | |
| 設備、製品等の写真、イメージ |   | | |
| 処理フロー図 | ①木材チップ、オガコ→蒸煮(高温・高圧飽和水蒸気)→乾燥→消臭剤 ②オガコ→蒸煮(高温・高圧飽和水蒸気)→乾燥→粉碎→金型成形→新素材成形製品 | | |
| 廃棄物の種類 | 産廃 | 廃木材 | 受入条件、形状 チップ、オガコ 金属、建築廃材は含まない |
| 供給資源・製品 | 金型成形の成形品 | | 形状 金型による |
| | 消臭剤 | | 形状 チップ状 金型成形形状 |
| アピールポイント | 廃棄物等排出者側のメリット | 例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等 | <ul style="list-style-type: none"> ・焼却処分されずCO2の削減になる。 ・買取金額が原料として高く売れる。 |
| | 製品購入者側のメリット | 例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等 | <ul style="list-style-type: none"> ・消臭剤販売価格 1,000 円/kg |
| | その他 | 例) 受賞歴、施設見学受入者数、等 | <ul style="list-style-type: none"> ・2005 年愛知万博 愛・地球賞受賞(持続可能 100 の技術) |

13.2.3 実績情報

| | 品目名 | 平成 20 年度 | 平成 24 年度 | 単位 |
|-----------------------|---|----------|----------|----|
| 処理実績量の推移 | 廃木材チップ | 非公開 | 非公開 | kg |
| | オガコ | 非公開 | 非公開 | kg |
| 受入可能量 | 廃木材チップ | - | 非公開 | t |
| | オガコ | - | 非公開 | t |
| 販売実績量の推移 | 消臭剤 | 非公開 | 非公開 | kg |
| | 成形品 | 非公開 | 非公開 | kg |
| 主な調達先 | 主に製材業者 | | | |
| 主な供給先 | 主に道の駅(販売先) | | | |
| 技術開発の実績 (過去 5 年間) | 消臭剤の製造方法および組成物で特許出願(2009 年、2010 年) | | | |
| 補助金等支援策の活用実績(過去 5 年間) | ・経済産業省「平成 21 年度ものづくり中小企業製品開発等支援補助金」・中部経済産業局「平成 24 年度新事業活動補助金(農商工等連携対策支援事業)」 | | | |
| その他実績 | 2013 年 B1 グランプリに豊川市から要請され地域産業出展した。 | | | |

13.3 愛知県遊技業協同組合

13.3.1 事業者情報 ※ 技術情報、実績情報なし

| | | | | |
|----------|---|---------------------------|----------------|--|
| 名 称 | 愛知県遊技業協同組合 | | | |
| 本社住所 | 〒460-0008 | 名古屋市中区栄二丁目9番3号 伏見第一ビル6階 | | |
| 資本金、出資金 | 1,221万7千円（愛知県遊技業協同組合の出資金） | | | |
| 従業員数 | 5人 | | | |
| 設立年月日 | 平成19年5月（「遊技機エコタウン推進協議会」の設立） | | | |
| 事業概要 | 組合員ホールから排出される使用済遊技機の個体管理を徹底し、不法投棄や不適正な流出を防止すると共に、業界6団体が選定した優良な県内所在のリサイクル処理業者に排出するよう指導する等、適正なりサイクル処理を期する諸活動を行っている。 | | | |
| 問合せ先窓口 | 部署名 | 愛知県遊技業協同組合（遊技機エコタウン推進協議会） | | |
| | 担当者名 | 永井 賢二 | | |
| | 連絡先 | 電話番号 | (052) 201-5016 | |
| | | FAX | (052) 231-8654 | |
| Eメールアドレス | | aiyukyo@hyper.ocn.jp | | |

13.4 株式会社三進製作所

13.4.1 事業者情報

| | | | | |
|-----------|--|--------------------------|--------------|--|
| 名 称 | 株式会社三進製作所 | | | |
| 本社住所 | 〒453-0013 | 名古屋市中村区亀島 2-22-2 | | |
| 資本金、出資金 | 100,000 千円 | | | |
| 従業員数 | 102 人 | | | |
| 設立年月日 | 昭和 23 年 9 月 1 日 | | | |
| URL | http://www.sanshin-mfg.co.jp/ | | | |
| 事業概要 | <p>創立 65 周年のろ過機のパイオニアメーカーです。ろ過・排水処理・リサイクルを事業柱に水処理を通じて環境保護・保全に取り組んでいます。</p> | | | |
| 事業所写真 |  | | | |
| 問合せ先窓口 | 部署名 | 管理本部 企画管理室 | | |
| | 担当者名 | 中野 博文 | | |
| | 連絡先 | 電話番号 | 0568-67-0451 | |
| | | FAX | 0568-68-3240 | |
| E メールアドレス | | nakano@sanshin-mfg.co.jp | | |

13.4.2 技術情報

| | | | | |
|----------------|---|--------------------------|---|------------------------|
| キーワード | めっき水洗工程のクローズド化と資源リサイクルセンターによる金属資源回収 | | | |
| 技術名称 | イオン交換法によるめっき洗浄水の精製、循環利用と、飽和樹脂の集中再生処理で再生溶離液から単体金属の回収と再資源化 | | | |
| 技術の分類 | レアメタル・レアアース等希少金属回収、汚泥、排水処理 | | | |
| 目的・用途 | めっき水洗工程で発生する洗浄排水をほぼ 100%循環再利用し、使用水量が従来の 1/10 に低減させる。また、従来排水処理で発生した廃棄物(汚泥)の削減と含有金属の回収再資源化を行う。 | | | |
| 特長 | 排水処理設備を持たない又は設置スペースが少ない中小規模の事業所に最適な可搬式ポンベ型イオン交換装置と使用済みのイオン交換樹脂を引取り再生し繰り返し使用可能とした再生サービス事業を構築する事で、全国区でのユーザー確保と 30 年以上の事業継続を行っている。 | | | |
| 設備、製品等の写真、イメージ |  | | | |
| 処理フロー図 | | | | |
| 廃棄物の種類 | 有償 | 使用済みイオン交換樹脂(顧客所有物) | 受入条件、形状 | ボンベ型容器にイオン交換樹脂が充填された状態 |
| アピールポイント | 廃棄物等排出者側のメリット | 例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等 | ボンベ型イオン交換機による水回収・増水効果として平均 50 万 m ³ /年 全国水道料金・平均 1,473.5 円/10 m ³ で換算すると 年間 73,675 千円の水道料金削減に相当する | |
| | 製品購入者側のメリット | 例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等 | 同上 | |
| | その他 | 例) 受賞歴、施設見学受入者数、等 | 2007 年に愛知環境賞・銀賞 2012 年産業環境管理協会会長賞 | |

13.4.3 実績情報

| | 品目名 | 平成 20 年度 | 平成 24 年度 | 単位 |
|---------------------------|--|----------|----------|----------------|
| 処理実績量の推移 | イオン交換樹脂 | 344 | 303 | m ³ |
| 受入可能量 | イオン交換樹脂 | - | 500 | m ³ |
| 販売実績量の推移 | 金属含有スラッジ | 537 | 670 | kg |
| | (銅、ニッケル、金等) | - | - | |
| 主な調達先 | めっき事業者 | | | |
| 主な供給先 | めっき事業者 | | | |
| 技術開発の実績 (過去 5 年間) | 昭和 51 年に当社犬山工場で稼働した資源化センターは、再生溶離液を金属種別毎に分別しスラッジ化し山元精練所に金属資源として売却していたが、2010 年愛知県先導的リサイクル施設整備事業の助成金を受け、資源化センター内に再生溶離液から直接メタル回収する電析装置を開発し現在もテスト稼働を継続している。また、現在資源化センター事業の特許化に向け出願準備中である。 | | | |
| 設備投資の実績 (過去 5 年間) | 2010 年 資源化センター内のホウ素・フッ素処理設備を改造し、銅、ニッケルの金属回収設備とクロム酸濃縮設備を追加した。 | | | |
| 補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間) | 2010 年愛知県先導的リサイクル施設整備事業の助成金を活用 | | | |
| その他実績 | 平成 24 年度 資源循環技術・システム表彰制度で産業環境管理協会会長賞を受賞。以後国内展示会(メッセ名古屋、エコプロダクツ 2013 等)に出展PRを展開中。 | | | |

13.5 三幸毛糸紡績株式会社

13.5.1 事業者情報

| | | | | |
|-----------|---|--------------------------|--------------|--|
| 名 称 | 三幸毛糸紡績株式会社 | | | |
| 本社住所 | 〒450-0002 | 愛知県名古屋市中村区名駅五丁目 4 番 14 号 | | |
| 資本金、出資金 | 50,790 千円 | | | |
| 従業員数 | 101 人 | | | |
| 設立年月日 | 昭和 23 年 | | | |
| URL | http:// | | | |
| 事業概要 | 衣料・手編み毛糸・機械・土木・生活関連と、あらゆる分野に、繊維製品及び繊維素材を提供しております。 | | | |
| 事業所写真 | | | | |
| 問合せ先窓口 | 部署名 | 総務部 | | |
| | 担当者名 | 池戸 将文 | | |
| | 連絡先 | 電話番号 | 052-571-3331 | |
| | | FAX | 052-571-3510 | |
| E メールアドレス | | skb-wool@ivy.ocn.ne.jp | | |

13.5.2 技術情報

| | | | |
|----------------|--|--------------------------|--|
| キーワード | 廃木材 | | |
| 技術名称 | 木質系廃棄物の解繊素材を利用した低環境負荷・高付加価値マット製造 | | |
| 技術の分類 | その他(木質系廃棄物のリサイクル) | | |
| 目的・用途 | 河川堤防の土砂流出防止用マット・緑化資材等に利用します。 | | |
| 特長 | 自然に分解するため環境負荷が小さく、はがす手間もかかりません。 | | |
| 設備、製品等の写真、イメージ | | | |
| 処理フロー図 | ① 質系廃棄物→解繊維→ニードリング→フレキシブルマット ② 木質系廃棄物→蒸気処理→粉碎→加熱・加圧→エンボスマット | | |
| 廃棄物の種類 | 産廃 | 廃木材 | 受入条件、形状 チップ状態 |
| 供給資源・製品 | フレキシブルマット | | 形状 マット |
| | エンボスマット | | 形状 マット |
| アピールポイント | 廃棄物等排出者側のメリット | 例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等 | 木質系廃棄物由来の繊維は短いため用途がなく、その多くは焼却処分されますが、フレキシブルマット・エンボスマットとしてリサイクルが可能です。 |
| | 製品購入者側のメリット | 例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等 | 製造時に接着剤を一切使用せず、自然に分解するため環境負荷が小さく、はがす手間もかかりません。 |
| | その他 | 例) 受賞歴、施設見学受入者数、等 | 2006 愛知環境賞銅賞 |

13.5.3 実績情報

| | 品目名 | 平成 20 年度 | 平成 24 年度 | 単位 |
|----------------------|---------|----------|----------|----------------|
| 処理実績量の推移 | エンボスマット | 非公開 | 非公開 | m ² |
| 受入可能量 | 木質ミニチップ | - | 非公開 | kg |
| 販売実績量の推移 | エンボスマット | 非公開 | 非公開 | m ² |
| 主な調達先 | 非公開 | | | |
| 主な供給先 | 非公開 | | | |
| 技術開発の実績 (過去 5 年間) | 非公開 | | | |